

株式会社 **クリエイイト SD ホールディングス**



2024年5月期第2四半期 決算説明資料 2024年1月11日

本資料に掲載しております業績予想は現時点における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって予想と実際の業績が異なる可能性があります。あらかじめ御承知おきますようお願い申し上げます。
お問い合わせ先 経営企画部:阿部・木村(TEL 045-914-8241)

2024年5月期 第2四半期 実績

1. 決算ハイライト(連結)
2. 損益計算書(連結)
3. 貸借対照表(連結)
4. 出退店状況
5. 業績ハイライト

2024年5月期 通期計画

1. 出退店状況
2. 2024年5月期 通期計画
3. サステナビリティ経営の推進

自己株式を活用した第三者割当による新株予約権発行について

1. 資金調達の目的及び用途

2024年5月期 第2四半期 実績

1. 決算ハイライト(連結)

2024.5期 第2四半期 累計実績

売上高

2,074億円

(前期比 **110.7%**)

経常利益

101億円 売上構成比
4.9%

(前期比 **107.8%**)

《事業概況》

- ◆EDLP施策が奏功したことにより既存店売上・客数は堅調に推移
- ◆売上総利益率は低下するも売上伸長により総利益額は計画を超過
- ◆販管費は計画内に収め、増収増益を確保

2. 2024年5月期 第2四半期 PL(連結)

売上高は前年・計画共に達成、販管費計画内に収め増収増益を確保

	2023.5期 第2四半期 累計 実績		2024.5期 第2四半期 累計 実績			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	187,392	100.0	207,451	100.0	110.7	105.1
売上総利益	50,989	27.2	53,965	26.0	105.8	101.9
販売管理費	41,754	22.3	44,113	21.3	105.7	99.0
営業利益	9,235	4.9	9,852	4.7	106.7	116.7
経常利益	9,451	5.0	10,191	4.9	107.8	116.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,412	3.4	6,875	3.3	107.2	115.9

売上高

新型コロナの5類移行による外出機会の増加に加え、前期より引続き生活必需品を中心としたEDLPが奏功

売上総利益

・マスクや除菌関連商材等の高荒利商材の反動減

・EDLP推進による影響

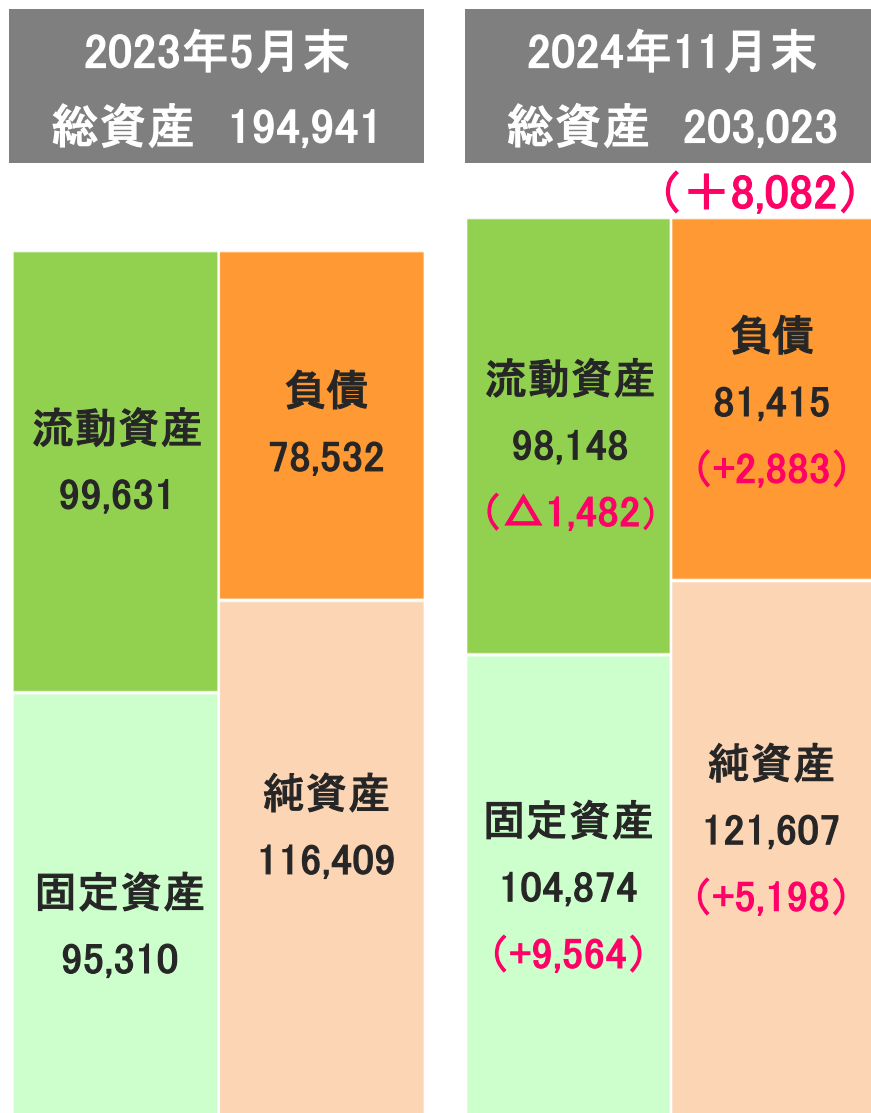
⇒売上構成比:前期差△1.2pt

販管費

人件費単価及び水道光熱費が高止まりする中、販管費全体では計画比 99.0%と計画内で運用

⇒売上構成比:前期差△1.0pt

3. 2024年5月期 第2四半期 BS(連結)



(単位:百万円)

■ 流動資産	△1,482
現預金の減少	△3,487
売掛金の増加	+632
商品の増加	+1,534
■ 固定資産	+9,564
土地取得及び手付金	+3,272
建物及び構築物	+3,725
■ 負債	+2,883
買掛金の増加	+1,461
■ 純資産	+5,198
利益剰余金	+5,168

3. 出退店状況

■ 出退店・改装

退店:ドラッグストア **3店舗** (契約満了2店舗、経営効率化1店舗)

今期2Q累計 出店数		神奈川	東京	静岡	千葉	愛知	その他	合計
出店	ドラッグストア	7	2	1	4	2	0	16
	調剤薬局	8	2	2	6	1	0	19

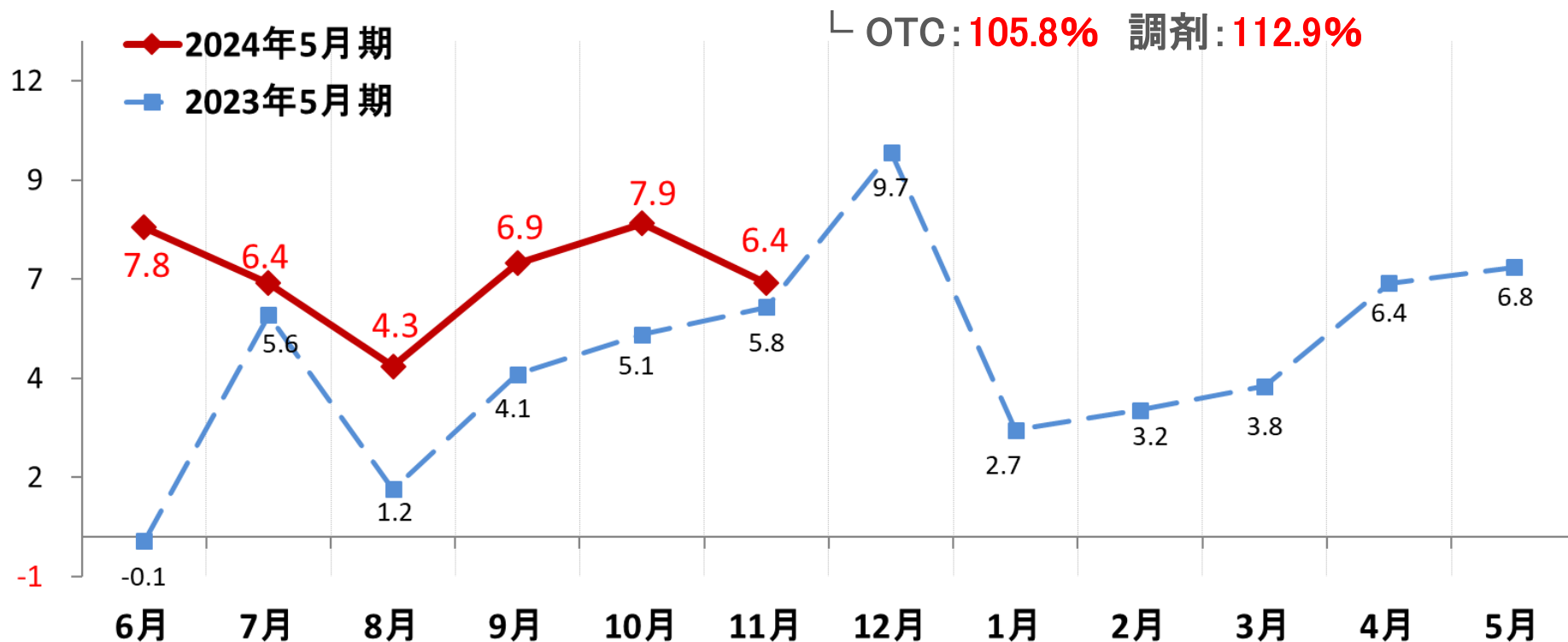
・改装 **15店舗** (MD見直し:9店舗、調剤開局フォロー:4店舗、増築改装:1店舗、調剤改装:1店舗)

■ 2023年11月末 店舗数

	神奈川	東京	静岡	千葉	愛知	その他	合計
ドラッグストア	410	114	94	59	22	31	730
併設薬局	210	55	30	34	14	9	352
併設率	51.2%	48.2%	31.9%	57.6%	65.6%	29.0%	48.2%
専門薬局	26	7	0	2	1	1	37
スーパーマーケット	5	0	0	0	0	0	5
総店舗数	441	121	94	61	23	32	772

5. 業績ハイライト

■ 全社既存店 売上高前年比(上期計): **106.6%** (1Q:106.1% 2Q:107.1%)



物価上昇・節約志向の高まりにより、生活必需品を中心としたEDLP奏功

コロナ5類移行に伴う人流回復・外出機会増

猛暑による夏物シーズン品好調

発熱、インフル等の感染症流行

5. 業績ハイライト

■ セグメント別売上高

	2023.5期 第2四半期 累計実績		2024.5期 第2四半期 累計実績		
	売上高(百万円)	構成比 (%)	売上高(百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
医薬品	51,050	27.6	54,654	26.6	107.1
O T C	30,588	16.5	30,497	14.8	99.7
調剤	20,461	11.1	24,157	11.8	118.1
化粧品	22,286	12.1	24,038	11.7	107.9
食料品	73,549	39.8	86,056	41.9	117.0
日用雑貨品	28,907	15.7	30,965	15.1	107.1
その他	8,870	4.8	9,665	4.7	109.0
合計	184,664	100.0	205,380	100.0	111.2

医薬品

- ・総合感冒薬の販売数増の一方、マスク、消毒薬関連の販売数減
- ・調剤併設推進による応需枚数増
調剤構成比**11.8%**と伸長(+0.7pt)

化粧品

- ・メイク化粧等、外出機会の増加により回復傾向
- ・猛暑により夏物シーズン化粧品の販売数増

食料品

- ・生活必需品を中心とした**EDLP奏功**により販売数増

※“その他”の部門には 文具・ベビー用品・衣料品・ペット・園芸等が含まれます

5. 業績ハイライト

■ 売上総利益率・販管費率

売上総利益率	2305期 第2四半期累計		2405期 第2四半期累計		前期比差	
	実績(百万円)	構成比	実績(百万円)	構成比	構成比差	前年比
売上額	184,664	-	205,380	-	-	111.2
売上総利益	50,561	27.4	53,660	26.1	△1.3	106.1

売上総利益率

- ・マスクや除菌関連商材等の高荒利商材の反動減
- ・調剤診療報酬改定及び薬価改定による押し下げを、調剤売上構成比伸長によりカバー
- ・EDLP推進による影響

販管費率

- ・人員の適正配置と採用見直しにより人件費をコントロール
- ・政府助成金により光熱費の増加を抑制
- ・土地や建物を自社で所有する店舗の増加により地代家賃の売上構成比が低下

販管費率	2305期 第2四半期累計		2405期 第2四半期累計		前期比差	
	実績(百万円)	構成比	実績(百万円)	構成比	構成比差	前年比
人件費計	23,115	12.5	24,535	11.9	△0.6	106.1
販売促進費計	512	0.3	530	0.3	0.0	103.6
水道光熱費	2,117	1.1	2,148	1.0	△0.1	101.5
減価償却費	1,901	1.0	2,159	1.1	+0.1	113.6
支払手数料	2,338	1.3	2,572	1.3	0.0	110.0
地代家賃	8,200	4.4	8,545	4.2	△0.2	104.2
その他	3,743	2.0	4,096	2.0	0.0	109.5
販売費・一般管理費	41,927	22.7	44,588	21.7	△1.0	106.3

5. 業績ハイライト

■ 調剤薬局部門

	2023.5期 第2四半期 累計実績	2024.5期 第2四半期 累計実績	前期比 前期差		
全店売上 (百万円)	20,461	24,157	118.1	枚数・売上高は堅調に推移	
処方箋枚数 (千枚)	2,179	2,648	121.5		・調剤併設の推進
処方箋単価 (円)	9,164	8,933	97.5		・発熱、インフルを含めた感染症等による急性期処方の応需増加
既存店売上 (百万円)	20,404	23,036	112.9	診療報酬改定と、薬価改定による荒利率低下	
処方箋枚数 (千枚)	2,172	2,510	115.6		・22年4月の診療報酬改定により調剤技術料減額 (当社において基本料の減額は23年4月より適用)
処方箋単価 (円)	9,170	8,997	98.1		
在宅売上 (百万円)	648	709	109.4		
在宅店舗数 (店)	169	189	+20		
処方箋枚数 (千枚)	44	45	104.2		
全店荒利率 (%)	43.7	41.5	△2.2		

2024年5月期 通期計画

1. 出退店状況

■ 下期出退店 ※2023年11月末時点見込み

・ドラッグストア:28店舗(通期 44店舗) ・調剤薬局:29店舗(通期 48店舗)

退店:ドラッグストア 8店舗 (契約満了 6店舗、経営効率化 2店舗)

	上期出店	下期出店	通期出店	通期計画	計画差	通期退店	計画差	24年5月末見込み
ドラッグストア	16	28	44	50	△6	8	+2	753店舗
併設調剤	18	29	47	59	△12	0	0	381店舗 (併設率50.6%)
専門調剤	1	0	1	1	0	0	0	37店舗
ゆりストア	0	1 (生鮮専門店)	1 (生鮮専門店)	1 (生鮮専門店)	0	0	0	6店舗 (生鮮専門店4店舗含む)
総店舗数	17	29	46	52	△6	8	+2	796店舗

《計画差要因》

- ・OTC出店 行政の開発許可遅れなどによる翌期へのずれ込み
- ・調剤出店 処方箋応需が見込みづらい店舗の出店見直しと翌期へのずれ込み
- ・退店 経営資源集中の為、ドミナントエリア内の小型店舗を契約満了に合わせて閉鎖

2. 2024年5月期 通期計画(連結)

※通期計画は修正しておりません。

通期	2023.5期 実績		2024.5期 計画			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	前期差 (百万円)
売上高	380,963	100.0	404,100	100.0	106.1	+23,137
売上総利益	102,987	27.0	109,640	27.1	106.5	+6,653
販売管理費	84,075	22.1	90,400	22.4	107.5	+6,325
営業利益	18,912	5.0	19,240	4.8	101.7	+327
経常利益	19,428	5.1	19,800	4.9	101.9	+371
当期純利益	12,925	3.4	13,000	3.2	100.6	+74

3. サステナビリティ経営の推進

■ 離職防止・女性活躍の推進

《離職防止》

- ・キャリアに応じた研修体制の構築
- ・新入社員メンター制度の検証

《女性活躍推進》

- ・ロールモデルを設定できる環境づくり

女性活躍推進に関する指標(クリエイトエスディー単体)

指標	2305期実績	目標達成年度	目標値
新任店長・薬局長への女性登用比率	36.6%	2405期	40%以上
管理職に占める女性比率	17.7%	3105期	25%以上

※2023年8月 有価証券報告書にて開示済み

■ 環境負荷低減の取組み

・店舗使用電力の削減

- 太陽光発電設備の導入
- 冷ケース照明のLED化

・配送の効率化

- 物流センターの新設と再配置
- 精肉とその他冷蔵品の配送一本化

・リサイクルの推進

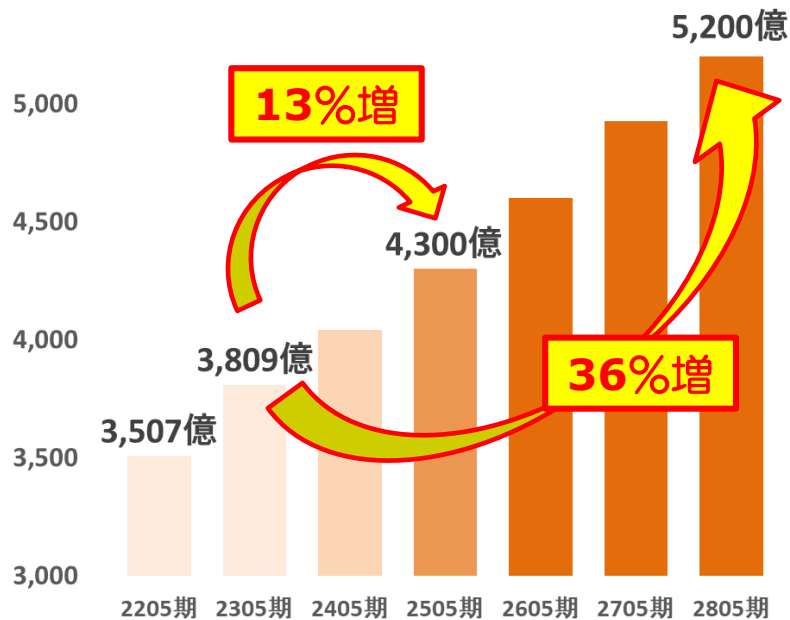
- 店頭でのおくすり(PTP)シート回収
- ペットボトルキャップ等の回収による廃棄物削減



自己株式を活用した第三者割当による 新株予約権発行について

※2023年11月6日 開示資料より

1. 資金調達の目的及び用途



※2023年11月6日 開示資料より

中期経営計画	2025.5期 計画	2028.5期 計画
	<百万円>	
売上高	430,000	520,000
経常利益	21,500	26,000
経常利益率	5.0%	5.0%
店舗数	850店舗	1,000店舗

《資金用途》

①競争力の高い大型店舗の出店強化

②物流センターの新設・再配置による生産性向上

⇒中期経営計画達成のため、成長投資に活用する